

如く過ぎた 夜

anchovyXpeperoni



成人同人誌

For Adults Only

茹で過ぎた マカロニの 穴

anchovy×peperoni

成人向同人誌
For Adults Only

お く づ け

発行者 ——— 水無月十三 (みなづきじゅうそう)

発行サークル — ゲルピン

印刷所 ——— 有限会社スストウシャドウ

発行日 ——— 2016年 8月14日

連絡先メールアドレス — minazuki@asia.interq.or.jp

BLOGアドレス — <http://geldpinch.blog36.fc2.com/>

注意!!!

この本は成人向けです。
未成年の方は読むことはおろか
所持することも出来ません。



如で過ぎたマカロニの穴

描いた人
水無月十三

注: このCV33は武装を取り外してあります。



お前とカルパッチヨに
大学選抜戦との戦いも経験
させることができて良かったよ

いや、我がアンツイオ高校も
今年はなんとか全国大会の
一回戦を突破出来たのみならず



なあ?
覚えてるか
ペパロニ

初めて会った時のお前ってばさあ...

お前とカルパッチヨなら
安心して後を託せるよ

来年は二回戦突破
...いや優勝さ!!!

これで私も
アンツイオ校戦車道復興の
重責から開放されて
引退できるってものさ



あいたツ!!!



お…おいどうした急に？

ネコでも飛び出して
きたのか？

…姐さんは



姐さんは悲しく
ないんスカツ!?

もう会えないんスよ!!!!



…いや…会えるだろ？
卒業して学園艦から降りる
だけじゃないか

毎日会えないって
ことツスよ!!!

姐さんと一緒に居られるから
戦車道を始めたっていうのに…

もし姐さんが卒業して…
たまの寄港でしか会えなくなったら…
わたし…わたしは…



ぴん

姐さん…

ペパロニ…
お前そんなに…

わたしは…
ただ姐さんともっと一緒に…



まったく
お前は…

姐さん？

まじか…

!



いつもの威勢は
どうしたんだよ？

私だって
何度も愛しあつたお前と
離れるのが辛いことくらい
…わかってるだろ？

…すみません

だいたい
私が卒業するまで
まだ数ヶ月あるんだぞ？

まだまだ一緒に
愉しむ時間はあるぞ♡







プリプリって
お前なあ...

本当です
もん♡

プリプリの
コリコリっす♡

んは...♡

んっ♡

んっ♡

あッ...

どろろ

ちゅんちゅん...

ふあッ!!!

はあッ...あッ♡

ちゅんちゅん...











戦闘中とエツチの時
では全然違うだろ

そういうもんスカ?

…って
また閉めるんスカ?

今度はお前の番!

あッ♡

ちゅちゅ



ん♡
ペパロニの
いい香りだ♡

ちゅちゅ

ね…姐さん…

ちゅちゅ

はああッ♡



ちよ…姐さん…

ん♡

んッ♡

だ…ダメですって!

此処はコロッセオの
すぐ裏手ツスよ!?

ウチの生徒が来たら…

見張っつけ



ココもまだ
キツキツだし♡

ちゅちゅ



姐さん…
だ…ダメっすよ…

そんなに…

はあッ♡

そんなに弄ったら…

あッ…あッ♡
はッ♡



ちよつと！

ペパロニ？



な…

何だよ
カルパッチョ

ドゥーチエ見かけなかった？

さっきから
探しているのだけど…

そろそろ来年らいねんに向けて
いろいろ決めて
いただかないとね

…そうだよな



姐さんなら
パンテオンの方に
行っ…たッ

あッ♡

？

ペパロニ？

イッたよ

そ…そうなの？

ありがとう
行ってみるわね

あ…♡

はあ…♡









この度はこの『茹で過ぎたマカロニの穴』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます！
感謝感激雨あられ、恐悦至極に存じます～！水無月十三でございます。

というわけで、ガルパンのアンツイオ本です。

例年なら夏のコミケ新刊は高確率でプリキュア関係になるのですが、
今回はどうしてもガルパン本が描きたかったのです。

いや…当初の予定では「コミック以降で夏コミより前の時期」の比較的小規模な即売会での新刊として
この本を考えていたのですが、諸事情により結局夏コミ合わせということになりました。

当サークル「ゲルピン」の本を毎回買って下さっている皆様であれば「あれ？フタナリじゃない
じゃん！しかもエロシーン少ないし！騙された！金返せ！」と思われることでしょう。

もちろん、昨年(2015年)の末頃にガルパン劇場版を観た直後は「同人誌描くぞ！ペパロニをフタナリにして…」
などと私も考えてはいたのですが、5回10回と観る度にだんだんと心が浄化(笑)されたらしく、
「おちんちんの出てこない百合物でなければダメだ…」という思いが強くなっていったのです。

最初に劇場版を観た時からアンツイオ組で本を作ることは心の中で決まっていた。
それを決定づけたのは劇中での活躍っぷりもさることながら、やはりエンディングスタッフロールにて、
CV33を積載して走るトラックの運転席に3人並び、楽しそうに歌っている姿を見たからでしょうか。
本編中にも涙腺が緩むシーンがいくつかありましたけど、個人的にはあの楽しそうな3人のシーンが最も
「あああああ～…良い…」となったのであります。
「私も可愛い女子高生に生まれ変わった暁には、アンツイオ高校に入学して戦車道したい！」
などとキモい妄想に耽りたくもなるってものですよ。

ちなみに、当誌のタイトル『茹で過ぎたマカロニの穴』ですが、これはTwitterで見かけた
「同人作品タイトル自動生成機」(正式名失念…)みたいなアプリを使って作ったものでして、
キャラの名前を入力すると色々な文字列を組み合わせでテキトーな名前をでっち上げてくれるというもの。
「アンチョビ」とか「ペパロニ」「ドゥーチェ」「カルパッチョ」などと色々入力して生成したものの、
どれもいまいピンとこず、最終的にアンチョビの本名である「安齋千代美」で生成されたのがこのタイトルでした。
あまりにも神懸っていたので即採用。
当初の予定通りハードふたなり物だったのならばドンピシャなタイトルだったのかもしれませんが、
今回の内容ではちょっと名前負けしてますかね?(汗)

ネット上では「ペパロニ攻めでヘタレなアンチョビ受け」みないなイラストやマンガをよく見かける気がしますが、
個人的にはやはりアンチョビは全てにおいてしっかり者で経験豊富(男性経験だけ無い…)
ペパロニはヤンキーっぽい口調と行動でボーイッシュな風体ながらドゥーチェLOVEで乙女心も垣間見える感じが良いかな…と。

2人の行為を隠れて見ているうちに悶々としてきたカルパッチョは、タカちゃんことカエサル
元に飛んでいって…という展開も考えましたが、ページが全然足りなかったのでボツに。

ところで、私が『ガールズ&パンツァー』という作品をちゃんと認識したのは、たしか2014年の年末頃。
それまで本編を見たことはもちろん、誰が主人公でどういう話なのかまったく知らず、
「女の子が戦車に乗っている」ということと「秋山殿というキャラが居るらしい」という2点しか知識はありませんでした。
そんな私がTwitterか何かでアンチョビの画像を見て「あ、なんだか主人公っぽい！きつと主人公だ！」
と勘違いしてしまったのは無理も無いこと。
(ちょうどアンツイオのOVAが発売された頃で、アンチョビのメディア露出が多かったのが原因?)
現在では『3分ちょっとでわかる!! ガールズ&パンツァー』を観るだけでちょっとウルツとくるくらいに成長しました。

いやあ、ガルパンって本当に良いものですね。

(予定では夏コミの前日に上京し、立川シネマの極上爆音上映を観に行くつもりなのですが…果たして…)

お く づ け

発行者 ——— 水無月十三 (みなづきじゅうぞう)

発行サークル — ゲルピン

印刷所 ——— 有限会社スズトウシヤドウ

発行日 ——— **2016年 8月14日**

連絡先メールアドレス — minazuki@asia.interq.or.jp

BLOGアドレス — <http://geldpinch.blog36.fc2.com/>

注意!!!

この本は成人向けです。
未成年の方は読むことはおろか
所持することも出来ません。

